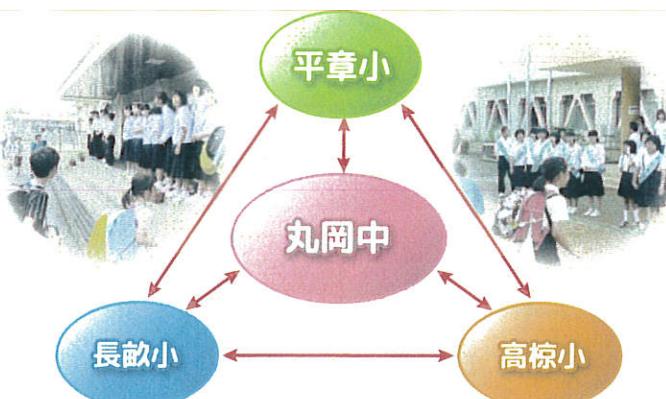




児童生徒の小中交流

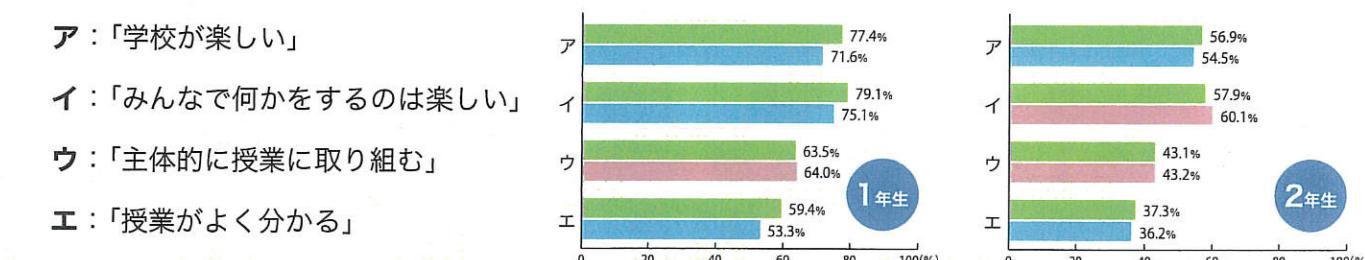
- 母校でのあいさつ運動
- 中学校の文化祭への招待
- 中学生が小学校で先生になって授業
- 母校訪問（中学校生活紹介）
- 部活動見学会



丸岡中学校の2学期の取組から

子どもの声調査結果の変化（7月→12月）

ア～エの問い合わせ、「1. 当てはまる」と回答した生徒の割合



具体的な取組

- ピア・サポートプログラムの実践
 - ・全学級で実践…友達同士で支え合う力
 - ・共同参観授業…子どもの姿と教師の姿を見とる（ワークショップ型研究会）
- 行事を通してスキルを実践（同学年で）
 - ・お互いに勉強法を教え合う（クラス内のピア・サポート）
 - ・体育祭の応援の指導法を学び合う（応援団同士のピア・サポート）
- 行事を通してスキルを実践（学年を超えたお世話活動）
 - ・母校訪問（3年→1年）・テーマ研修（2年→1年）
 - ・赤ちゃんとっこ体験（3年→2年）
- 行事を通してスキルを実践（活躍できる場の設定）
 - 2年生「3学期プロジェクト」…2年生の力で、3学期の行事を成功させよう！



- 3学期プロジェクト
- ・小小交流・キャリアフォーラム
 - ・学力向上・3年生を送る会
 - ・学年レクレーション・卒業式成功
 - ・修学旅行・スポーツ大会
 - ・そうじ向上

集団づくり

成果と課題

- 学校生活に充実感を感じる生徒の育成**
- ◎「みんなで何かをするのは楽しい」と感じる2年生が増加
→ 生徒会活動、部活動の中心として活躍
 - ◎「嫌な思いをしたり、させたりした」生徒が減少
 - ◎「違う意見や考えを認め合える学級である」と感じている生徒が増加
→ 「ピア・サポート」の効果 安心して通える学級、学校づくり
 - △学校生活に充実感を感じている生徒が、1学期と比較して減少
2、3年生で数値目標（70%）は未達成



教員の小中連携

校区内全教員参加の全体研修会

第1回目（夏季休業中）

- 5つの部会に分かれて中学校区における共通実践項目についての話し合い
 - ・学びのサポート部会
 - ・学校生活向上部会
 - ・絆づくり部会
 - ・交流部会
 - ・家庭教育部会



第2回目（冬季休業中）

- 各校のPDCAシートにもとづいた2学期の取組についての成果と課題を発表
- 2学期を終えての意識調査の分析について
- 3学期のPDCAシートの作成準備



目標

- ア：「学校が楽しい」
イ：「みんなで何かをするのは楽しい」
→ 全学年 70%以上

- ウ：「主体的に授業に取り組む」
→ 1年生 70%以上、
2,3年生 60%以上

- エ：「授業がよく分かる」
→ 1年生 70%以上、
2,3年生 40%以上

→ 主体的な活動、生徒同士が
かかわり合う場の設定

→ 探究的な学習、
協働的な学びの場の設定

→ 教材研究の充実、
授業公開、授業研究会

授業づくり

具体的な取組

- 計画的な授業公開と授業研究会
 - ・教科毎に月1回の授業公開、放課後に授業研究会
 - ・自分の考えをもち、伝え合い、再構築する場の設定
 - ・学習意欲を喚起する学習課題の設定



成果と課題

成果と課題

- 「授業に主体的に取り組む」生徒が全学年で増加
→ 表現活動の充実、協働的な学びの場の設定
- 「授業がよくわかる」3年生が増加 → 目的意識の向上
△「授業がよくわかる」1, 2年生が減少
→ 「わかる授業づくり」をさらに強化



意識調査の質問項目の構造



集団への所属感と学習への満足感

「学校が楽しい!!」